



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5195 URL https://www.bandogrp.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林 一志 TEL 078-304-2516  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	48,201	5.3	3,808	23.4	4,546	34.2	3,352	29.0
2018年3月期第2四半期	45,792	4.5	3,085	8.1	3,387	22.6	2,597	24.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3,329百万円 (△9.2%) 2018年3月期第2四半期 3,666百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	73.15	—
2018年3月期第2四半期	56.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	101,296	66,062	65.0
2018年3月期	98,990	63,394	63.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 65,814百万円 2018年3月期 63,162百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の値となっています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年3月期	—	16.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	3.0	6,500	2.6	7,000	6.1	5,000	4.3	109.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	47,213,536株	2018年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,364,250株	2018年3月期	1,415,326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	45,823,190株	2018年3月期2Q	45,830,415株

(注) 当社は、従業員持株E S O P信託および役員報酬B I P信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料] P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は2018年11月21日（水）に機関投資家およびアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国は民間部門の自律的な景気回復局面にあり、欧州も緩やかな景気回復が持続いたしました。アジア地域の景気は総じて堅調であり、日本も緩やかな回復基調が持続いたしました。一方で、中国では景気の減速傾向もみられ、米国の通商・外交政策等が世界経済に影響を与える懸念は引き続き存在しています。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、米国では安定した個人消費に後押しされ、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移いたしました。アジア地域においては自動車生産台数が堅調に推移し、中国および日本では前年水準で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”(未来への躍進)の第2ステージの初年度として、新事業の創出、コア事業の拡大、ものづくりの深化と進化、個人と組織の働き方改革の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指しての活動を開始いたしました。また、今後も拡大が期待できるコア事業の潜在力と早期事業化を目指す新事業の可能性の理解を深めていただくべく、9月に「バンドーテクノフェア2018」を開催いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高は482億1百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は38億8百万円(前年同期比23.4%増)、経常利益は45億4千6百万円(前年同期比34.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億5千2百万円(前年同期比29.0%増)となりました。

事業(セグメント)別の状況は、次のとおりであります。

## [自動車部品事業]

国内においては、自動車生産台数が前年水準で推移し、補機駆動用伝動ベルト(リブエース®など)および補機駆動用伝動システム製品(オートテンショナ、バンドースムスカップラー®など)の販売は増加いたしました。

海外においては、中国において主要顧客の生産台数の増加により販売が増加いたしました。アジア地域において積極的な顧客開拓に注力したことにより、補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は209億1千9百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益は16億7千2百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

## [産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、民間設備投資需要が増加したことにより、産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。また、米国および中国における販売強化により農業機械用伝動ベルトや産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内において鉄鋼向けなどの案件が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は180億2百万円(前年同期比8.8%増)、セグメント利益は取引先への不具合対応により原価が増加した影響もあり10億3千9百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

## [高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、建装材業界への販売強化により、建築資材用および工業資材用フィルムの販売が増加いたしました。また、事業転換の一環として新たな用途開拓を進めている自動車・二輪車用外装フィルムの販売も増加いたしました。

精密機能部品につきましては、中国において主要顧客であるOA機器メーカーの生産台数は横ばいで推移しているものの、補給部品市場の低迷によりブレードなどの販売が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は78億2千8百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント利益は高付加価値製品への転換が進んだことなどにより4億4千3百万円(前年同期比192.9%増)となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業などを行っており、売上高は18億7千3百万円（前年同期比48.6%増）、セグメント利益は電子資材事業の増加が寄与し4億5千8百万円（前年同期比257.5%増）となりました。

上記の各セグメント別売上高およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が26億7千万円増加した一方、固定資産が3億6千3百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ23億6百万円増加し、1,012億9千6百万円となりました。

負債は、流動負債が2億1千5百万円減少し、固定負債が1億4千6百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ3億6千1百万円減少し、352億3千4百万円となりました。

純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益等の計上により利益剰余金が26億5千6百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ26億6千8百万円増加し、660億6千2百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の63.8%から65.0%に上昇しました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は199億1千3百万円（前年同期は200億7千1百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金収支は44億9千9百万円の収入超過（前年同期は46億2千万円の収入超過）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益45億4千6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金収支は24億9千4百万円の支出超過（前年同期は26億4千9百万円の支出超過）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23億6千8百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金収支は6億8千5百万円の支出超過（前年同期は10億4千5百万円の支出超過）となりました。これは主に、親会社による配当金の支払額6億9千5百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました連結業績予想のとおりであります。

なお、業績予想について見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,947	20,300
受取手形及び売掛金	18,950	19,703
電子記録債権	2,834	3,298
商品及び製品	7,099	7,030
仕掛品	1,708	1,710
原材料及び貯蔵品	3,080	3,309
その他	1,182	1,110
貸倒引当金	△37	△26
流動資産合計	53,767	56,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,724	9,677
機械装置及び運搬具(純額)	9,839	10,075
土地	6,416	6,385
建設仮勘定	1,794	1,256
その他(純額)	1,634	1,672
有形固定資産合計	29,409	29,068
無形固定資産		
のれん	64	61
ソフトウェア	734	723
その他	764	707
無形固定資産合計	1,563	1,492
投資その他の資産		
投資有価証券	12,443	12,428
繰延税金資産	501	513
その他	1,448	1,501
貸倒引当金	△142	△144
投資その他の資産合計	14,249	14,298
固定資産合計	45,222	44,859
資産合計	98,990	101,296

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,966	10,065
電子記録債務	4,441	4,593
短期借入金	2,921	2,996
未払法人税等	925	1,027
株式報酬引当金	15	—
その他	6,773	6,144
流動負債合計	25,043	24,828
固定負債		
長期借入金	3,226	3,181
社債	6,000	6,000
株式報酬引当金	39	58
退職給付に係る負債	1,123	978
その他	162	188
固定負債合計	10,552	10,406
負債合計	35,595	35,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	2,995	2,995
利益剰余金	49,371	52,027
自己株式	△1,421	△1,369
株主資本合計	61,897	64,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,552	2,532
為替換算調整勘定	△1,545	△1,611
退職給付に係る調整累計額	257	287
その他の包括利益累計額合計	1,265	1,208
非支配株主持分	231	248
純資産合計	63,394	66,062
負債純資産合計	98,990	101,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	45,792	48,201
売上原価	32,139	33,787
売上総利益	13,653	14,413
販売費及び一般管理費	10,567	10,605
営業利益	3,085	3,808
営業外収益		
受取利息及び配当金	155	165
持分法による投資利益	172	378
為替差益	34	265
その他	203	177
営業外収益合計	566	987
営業外費用		
支払利息	108	89
固定資産除却損	88	108
その他	68	51
営業外費用合計	264	249
経常利益	3,387	4,546
税金等調整前四半期純利益	3,387	4,546
法人税、住民税及び事業税	836	1,155
法人税等調整額	△65	22
法人税等合計	770	1,177
四半期純利益	2,616	3,369
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,597	3,352



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,616	3,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	415	△20
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	528	207
退職給付に係る調整額	162	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	△256
その他の包括利益合計	1,049	△39
四半期包括利益	3,666	3,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,646	3,295
非支配株主に係る四半期包括利益	19	33

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,387	4,546
減価償却費	2,072	2,135
のれん及び負ののれん償却額	4	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△2
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	9	3
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	2	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	57	△98
受取利息及び受取配当金	△155	△165
支払利息	108	89
為替差損益(△は益)	△47	65
持分法による投資損益(△は益)	△172	△378
固定資産除売却損益(△は益)	93	90
売上債権の増減額(△は増加)	△1,137	△1,191
たな卸資産の増減額(△は増加)	△192	△127
仕入債務の増減額(△は減少)	1,209	168
その他	261	265
小計	5,496	5,405
利息及び配当金の受取額	369	283
利息の支払額	△110	△89
法人税等の支払額	△1,139	△1,109
法人税等の還付額	5	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,620	4,499
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△127	83
有形固定資産の取得による支出	△2,293	△2,368
有形固定資産の売却による収入	2	22
無形固定資産の取得による支出	△368	△222
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
投資有価証券の売却による収入	127	30
その他	20	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,649	△2,494
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△85	57
長期借入金の返済による支出	△174	△60
自己株式の取得による支出	△154	△0
自己株式の売却による収入	46	47
親会社による配当金の支払額	△651	△695
非支配株主への配当金の支払額	△9	△17
その他	△17	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△685
現金及び現金同等物に係る換算差額	211	117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,136	1,436
現金及び現金同等物の期首残高	18,935	18,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,071	19,913

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,298	16,498	7,944	44,741	1,051	45,792	—	45,792
セグメント間の内部 売上高または振替高	40	43	18	102	209	312	△312	—
計	20,338	16,541	7,963	44,843	1,261	46,105	△312	45,792
セグメント利益	1,458	1,095	151	2,705	128	2,834	251	3,085

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額251百万円には、セグメント間取引消去7百万円、全社費用243百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,897	17,936	7,820	46,654	1,547	48,201	—	48,201
セグメント間の内部 売上高または振替高	21	65	8	95	326	422	△422	—
計	20,919	18,002	7,828	46,749	1,873	48,623	△422	48,201
セグメント利益	1,672	1,039	443	3,155	458	3,613	194	3,808

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額194百万円には、セグメント間取引消去8百万円、全社費用186百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上高(百万円)	13,409	4,913	5,432	23,754
II 連結売上高(百万円)				48,201
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.8	10.2	11.3	49.3

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上高であります。
2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。
- (1) 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国または地域
- アジア……………タイ、韓国、インド、インドネシア、ベトナムほか
- 中国……………中国、香港
- 欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか